



おくさわ

令和7年度 重点教育目標 「考えるこども」の育成



なごき
和みの学び舎
奥沢中学校
奥沢小学校
東玉川小学校

運動会でのご声援ありがとうございました

校長 前田 恵里

どこからか金木犀の香りがして、顔を上げました。通勤の道の周りを見渡しますが、金木犀の木は見当たりません。遠くから風に乗って届くほど強い香りを持っていますが、かと言って金木犀のかわいいオレンジ色の花のすぐ近くに鼻を寄せてみても、突くような強い香りは全くしません。遠くのうつむいた者の顔を上げさせ、周りの世界を見渡すよう誘う、そのしなやかで調整力のある強さに憧れます。

10月28日に開催しました奥沢小学校運動会では、「本気で勝負！どんな結果でも最後まで～未来につなげ 奥小魂～」というスローガンのもと、子どもたちが力を出し切った時間となりました。延期による開催だったにも関わらず多くの保護者・地域の皆様に応援していただきましたことに、心より感謝上げます。また、25日の日曜授業日には、朝から児童椅子を教室に入れる活動がある旨をお知らせしていたところ、校門までお子様を送っていただいた何人もの保護者の方々に、「手伝いますよ」とお申し出いただきました。そのお言葉に胸温まる思いで、感激した次第です。児童に関わるすべての人で児童全員を育てる「チーム奥沢」の強みを感じました。ありがとうございました。

本校では、以前お伝えしているように「子どもの主体性を育む指導法の工夫 一学びの土台である非認知能力の育成を通して一」という研究主題で校内研究を行っています。「非認知能力」、これは数値で表せる力以外のすべてのものを指します。「生きる力」と言ってもいいかもしれません。研究として授業の中で伸ばしていくことはもちろんですが、先日の運動会のような行事でも大きく伸ばせる力だと考えます。子どもたちは、友と競い合い、また力を合わせることの楽しさを味わったり、仲間と喜びやくやしさを分かち合ったりといった、一人ではできない経験をします。その経験は、練習から精一杯取り組んできたからこそ得られるものです。さらに、子どもたちの逞しさや忍耐力、心の豊かさを形成し、柔軟に生きることを支えていきます。正に、子どもたちの幸せな人生の礎を作っていると言っても過言ではないかもしれません。

昔、まだ私が若かりし頃、尊敬する先輩教諭から言われた「行事が子どもを育てる」という言葉を今さらながらに実感しているのです。

たてわり班活動

月に一度、たてわり班ごとに集まって異学年交流をしています。校庭では鬼ごっこやドッジボール、教室ではハンカチ落としやじゃんけん列車など、下級生が楽しめるように工夫しながら毎月の遊びの内容を6年生が企画しています。6年生を中心に、班のみんなで協力しながら、毎月の活動を楽しみ子供たちの様子が見られます。

11月の生活目標

「自分から進んで、最後まで仕事をしよう」

11月の保健目標

「寒さに負けないからだをつくろう」

和みの学び舎ミニマム重点目標

「時間やチャイムを守る」

「人格の完成をめざして」

11月のテーマは「フェア」です。

自分のことだけ考えないで、相手を尊重して、公平に行動していますか？

- ・ドッジボールなどで、フェアに力いっぱいプレーする。
- ・いじめは卑怯なことだから、絶対にしない。
- ・「ごめんなさい」と謝られたら、素直に受け入れる。

[illegible][illegible]